

9 シロマダラ
Dinodon orientale

(ナミヘビ科)

兵庫県ランク:C
環境省ランク:-

種の概要

日本の固有種で、本土の全域と周辺離島に分布する。小型の無毒蛇で、ふつう全長40～60cmほど。灰褐色の地に黒い斑紋が並ぶ。気が強く手で掴むとよく咬むが、毒はない。ニホンマムシと間違われることがあるが、頸部に比べて頭部の幅がそれほど広くなく、また尾部が細長いので容易に識別できる。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内での発見例は多くはないが、これは本種が小型であることに加え夜行性であるため、人目につきにくいことが関係していると思われる。山間部の自動車の交通量の多い場所では、比較的高頻度で路上轢死体を目にすることがある。

写真提供: 飛永 結子

保護上の留意点

本種はほぼ完全に爬虫類の専食者で、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、タワヤモリなどのトカゲ類や小型のヘビ類を餌にしている。こうした餌の豊富な環境の維持と、さらには車道に出て轢死する頻度を下げる工夫が、保護の上で重要と考えられる。

県内分布

神戸市、西宮市、宍粟市、神河町、養父市、朝来市、香美町、洲本市

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	△

